

科目名	病院実務研修				選択	2単位
◎責任教員						
担当教員	◎教授 渡邊 真知子					
開講年度	—	履修コース	臨床薬学履修 コース	配当学期	半期	授業方法 研修
授業の概要	原則として、最先端で高度医療を担う帝京大学医学部附属病院において、最新の薬剤師業務を幅広く体験する。さらに、特定領域のチーム医療における薬剤師の役割を認識しその業務に精通すべく研修を続行する。特定領域とは、がん診療、緩和ケアチーム活動、感染症診療、感染制御活動、集中治療・救急医療、中毒医療などである。期間は3か月間とする。					
授業の到達目標	最新の薬剤師業務の体験を通じて、医療の現場における臨床的な研究課題に遭遇し、自ら学術的背景を調査する能力を身につけることができる。また、特定領域の薬剤師業務に従事することで、その領域の高度な専門性を知ることができ、さらには医療現場における臨床的研究課題に気付き、それを配属研究室と共同で展開する機会を得ることができる。					
事前事後学修の内容およびそれに必要な時間	医療現場で使用される薬剤の薬理作用について復習しておくこと。また、医療現場において薬剤師が関わり解決すべき問題点について、書籍、インターネット等で情報を収集しておくこと。 事前学修：前回の授業内容を復習し、用語の意味等を理解しておくこと。 事後学修：授業中の疑問点をまとめ、プリント等を利用し、次回の授業までに解決しておくこと。 当該期間に30時間程度の予復習が必要となる。					
教科書	特に指定しない。					
参考書	特に指定しない。					
成績評価の方法および基準	報告発表・実技修得(40%)、出席状況(30%) および研修態度(30%) により評価する。					
その他履修上の注意事項	実践活動と研究活動の比率は、教員、病院薬剤部指導責任者と学生との相談で決める。 課題等に対し、授業中での解説等のフィードバックを行う。 この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップを参照し理解すること。 この科目は、2019年度入学生～の履修科目である。					